

16. 歯学部附属病院歯科医師臨床研修科活動報告 第1報

○川上 智史****, 平井 敏博****, 小鷲 悠典****, 池田 和博****, 小島 雅彦****
 (*北海道医療大学歯学部附属病院歯科医師臨床研修科・**北海道医療大学歯学部附属病院・
 北海道医療大学歯学部歯科保存学第1講座・*北海道医療大学歯学部歯科保存学第2講座・
 *****北海道医療大学歯学部歯科補綴学第1講座・*****北海道医療大学歯学部附属病院事務課)

本年4月, 本学歯学部附属病院に歯科医師臨床研修科が設置された。本院では, 平成10年から, 病院長が責任者となり, 「複合研修方式」による歯科医師臨床研修が行われてきている。しかし, 研修医は各診療科での指導に依存してきたため, 一般歯科診療に必要な総合的な診療能力に偏りが生じることが危惧されていた。また, 平成18年から必修化となる卒直後の臨床研修をより意義あるものとするため, 病院運営会議をはじめとする関連会議・委員会で多くの議論がなされてきた。そして, 「臨床研修の管理・運営の一元化」が不可欠であるとの結論から, 本科の設置に至った。なお, 本年度は14名の研修医を受け入れ, 臨床研修を実施している。臨床研修の管理・運営に加えて, 今年度の本科の活動は以下の通りである。

研修指導医の資質向上を目的として, 8月25・26日の2日間, 本院ならびに「従たる施設」の指導歯科医27名を対象とした指導歯科医講習会を開催した。その内容は, 厚生労働省と歯科医療研修振興財団が主催して, 毎年3

泊4日の日程で富士研修センターにおいて開催されている「歯科医師臨床研修指導医ワークショップ」に準じたものであった。すなわち, 教育手法に関する講義を実施した後, ある1つのテーマについてSmall group discussionと全体討議を重ねることにより, 最終的に与えられたいくつかのテーマについての教育指導評価システムを構築するものである。9月21日(金)に, 本院歯科医師臨床研修医を対象としたOSCE (Objective Structured Clinical Examination) を施行した。OSCEとは, 1975年にHardenらによって提唱された, 診療に関する技能および態度を適正に評価する試験方法であり, 医学部・歯学部の臨床実習開始前試験として来年から試験運用される共用試験で, CBT (Computer Based Testing) とともに実施される予定である。

今回は, 歯科医師臨床研修科が今年度に行った2つの事業の概要と今後の展望について報告する。

17. 歯学部附属病院地域支援医療科活動報告 第1報

○越野 寿***, 関井 紀晃*, 平井 敏博***, 川上 智史*, 吉野 夕香***
 (*北海道医療大学歯学部附属病院地域支援医療科・**北海道医療大学歯学部歯科補綴学第1講座・
 ***北海道医療大学歯学部附属病院事務課)

本学歯学部附属病院は地域からの要望に応えるべく, 平成7年5月に訪問歯科診療班を組織・稼動し, 平成12年4月には, 本班専任の歯科医師, 歯科衛生士の各1名を配置し, 「訪問歯科診療班」として組織の充実を図った。さらに, 平成12年11月には附属病院機能の向上を目指して, 総合診断科, 歯科医師臨床研修科とともに, 地域支援医療科が新設されるに当たって, 「訪問歯科診療班」は「訪問歯科診療室」と改称された。地域支援診療科が担う活動は, 以下の通りである。

1. 訪問歯科診療への取り組み: 本院は, 平成7年5月地元当別町と「寝たきり老人等訪問歯科事業」の委託契約を締結し, 本格的な訪問歯科事業を開始した。さらに, 平成8年度からは, 岩見沢歯科医師会との間で「高齢者在宅訪問歯科事業に関する診療支援」を締結

するなど, 訪問歯科医療への取り組みを充実・発展させてきた。現在では, 活動地域を近隣市町村にも拡大するとともに, 札幌歯科医師会との後方支援体制を確立し, 地域社会に貢献している。

2. 災害地歯科診療への取り組み: 平成5年7月に発生した北海道南西沖地震の被災者に対するの歯科診療班の派遣, 平成7年に発生した阪神淡路大震災の被災者への歯科診療を行う際の情報提供, 平成12年3月に発生した有珠山噴火災害の被災者への歯科保健班の派遣など, 本院は災害時の歯科的活動に積極的に参加してきた。

3. サテライトクリニックへの取り組み: 本学は, 昭和59年9月, 過疎地歯科医療への貢献を目的に, サテライトクリニックとして, 浦臼町歯科診療所を開設した。